

市政を問う！

- 早川 喬俊 「資源にやさしいまちづくり」
- 二村 良子 「公共施設の有効活用」「普通財産（土地）の利活用と売却の推進」
- 井川 郁恵 「地域福祉計画」「介護と医療の連携」
- 石原 政明 「密集市街地のまちづくり」
- 柴田 輝明 「消防団の充実強化」
- 倉橋 英樹 「本市の水資源」「太陽光発電の普及」
- 安間 寛子 「核兵器のない世界へ豊川市の平和行政の拡充を」「上長山町などの産業廃棄物処理に関する問題の解決にむけて」「生活保護制度改悪からどのように市民のくらしを守るのか」
- 富田 潤 「パーキングパーミット制度の導入」
- 佐藤 郁恵 「賃上げ対策を中心とした地域経済振興策」「アベノミクスと一体の『社会保障改革』の問題点と対応」「集団的自衛権問題と変わりゆく『自衛隊』問題」
- 大嶽 理恵 「子どもの発達支援」「子ども発達支援センター構想」「特別支援教育」「子ども・若者育成支援推進法に基づく支援」「児童クラブの経営」
- 太田 直人 「豊川市開発ビル（株）の経営状況」

一般質問

生ごみの資源化の考えは？

早川 喬俊



【問】生ごみの資源化の考えは。

【答】大量の堆肥の発生、収集時において、水分の抑制などの課題があり、現時点では実施できる状況ではない。

【問】ごみ減量の啓発活動は。

【答】発生段階での減

量の工夫をお願いし、補助金やモニター制度を通じて生ごみ処理機などの活用を促進する。

【問】ごみステーション管理の考え方は。

【答】分別強化月間の町内会による立ち番や清掃により、違反ごみなどを排除できること

もあるため、継続すること

【問】収集時間にごみ出できない方への対応は。

【答】清掃工場などにごみを持ち込んだ場合、少量でも料金が発生する制度となっている。少量であれば無料とするなど、料金体系の改善を考えていく。

各公共施設の利用率向上対策は？

二村 良子



【問】各公共施設の利用率向上対策は。

【答】地域のコミュニティ活動の支援、施設の多目的複合化、空き情報の提供、利用者が興味を持つ講座や教室の開設などに努める。

【問】ファシリティマネジメントの具体的な

【答】売却を進めることが課題であり、より

【答】全庁的な資産管理を統括していく組織体制づくり、それに応じた適正な職員配置などを検討していく。

【問】普通財産の利活用と売却の推進は。

【答】売却を進めることが課題であり、より

【問】土地の利活用に対する基本的な考え方を定める必要はないか。

【答】売却、貸付などを進め、再度、現況などを確認する中で財産価値を精査し、それぞれの土地についての管理方針を定めていく。

①ファシリティマネジメント
設備・資源や空間などを、最も合理的、かつ効率的に管理し、運用するための経営手法のこと。



第2次地域福祉計画の概要は？

井川 郁恵



【問】第2次地域福祉計画の概要は。

【答】市民、市民活動団体など、社会福祉協議会、行政の四つに役割を分け、その担い手や活動内容を記載し、市民自らが課題解決に向けた取り組みを進めることとしている。

【問】地域福祉活動者に対する考え方は。

【答】地域見守りネットワークを構築し、それぞれの活動者が共同で事業を展開することで、活動に対する理解の促進、連携による適切なサービスや必要な情報の提供が図られる。

【問】介護と医療の連携についての国における特徴的な取り組みは。

【答】多職種の連携による地域での包括的、継続的な在宅医療、介護の提供を目的とした在宅医療連携拠点推進事業が実施されている。県から補助事業の公募が行われており、今年度は本市も実施する見込みと回答している。

密集市街地の防災上の課題は？

石原 政明



【問】密集市街地の防災上の課題は。

【答】耐震化や不燃化がされていない建物や狭い道路が多く、消火活動に必要な道幅確保が今後の大きな課題。

【問】密集市街地の建物耐震化の対策は。

【答】地元町内の役員

や愛知建築士会豊川支部の協力のもと、戸別訪問による耐震診断や耐震改修のPRを集中的に実施している。

【問】空き家の状況とその対策は。

【答】空き家についての問題点は多岐にわたっている。空き家対策

特別措置法成立の動向を見ながら、特に密集市街地での空き家対策について検討していく。

【問】密集市街地においてどのようなまちづくりを進めていくのか。

【答】防災対策に対する地域住民の意識を高める啓発を行い、地域との連携を図りながら地域住民が主体となつたまちづくりを進める。

あいち消防団の日制定に伴う本市の取り組みは？

柴田 輝明



【問】あいち消防団の日が制定され、本市はどのようなことに取り組みむのか。

【答】1月に開催予定の消防団出初式などの機会を捉え、消防団のPR活動を行い、認知度を高めていく。

【問】消防団員家族への配慮はあるのか。

【答】消防操法大会でちびっ子広場を設け、ゲームなどの企画を行っている。また、昨年からは消防家族の集いで蒲郡のラグナシアの入

場チケットなどの優待を行っている。

【問】消防団員や家族に対する特典を設ける取り組みはあるのか。

【答】消防団員の土気高揚や入団促進に効果があるようならば、実施を検討していきたい。

【問】消防団活性化に向けてどのような取り組みをしているのか。

【答】研修会への参加が意識向上等につながるため、積極的に消防団員の参加を募りたい。



水道施設の統廃合の予定は？

倉橋 英樹



【問】水道事業基本計画で実施する水道施設の統廃合の予定は。

【答】不要となるポンプ施設や配水池の削減などを行う。37年度を目標に12億5千万円の経費削減を見込む。

【問】自己水源の確保をどう考えているのか。

【答】自己水源確保のために、計画的に施設の改修を実施している。安定して安全な水道水を提供できるように努めていく。

【問】今後、太陽光発電システムを公共施設へ設置促進する考えは。

【答】市民などに対する

る率先行動として公共施設の新設、改築時に導入を進めていきたい。

【問】農地における売電を目的とする太陽光発電システム設置の相談件数は。

【答】農業委員会の手続が必要かという相談は10件。うち4件は比較的許可基準が輕易であったため、既に農地転用が許可されている。

平和市長会議に参加した感想や決意は？

安間 寛子



【問】平和市長会議に参加した感想や決意は。

【答】原爆が投下され、大変な被害に遭ったことをつくづく感じた。本市でも平和祈念式典を毎年開催しており、現在、平和公園の整備について協議している。

【問】上長山町地内で

の産廃処理問題が続いている。産廃問題から住民を守るための条例が設案町でも制定されたが、本市での制定は。

【答】条例制定は新規事業者の参入を抑制してしまう恐れがあるため、現行の法令等に基づき対応していく。

【問】生活保護基準の引き下げによる影響は。

【答】保育料や国民健康保険料の免除、介護保険料の段階区分、就学援助などに影響があるが、国では、できる限り影響がないよう対応していくこととしている。また、就学援助について十分な財措置を講じるよう国に要望している。

【問】今後、関係する団体から制度導入について意見を聴くことはないのか。

【答】アンケート調査や障害者団体との会議などを通じて意見を伺

② パーキングパーミット制度導入の考えは？

富田 潤



【問】20年12月定例会の一般質問の答弁を踏まえて、現在の経過は。

【答】県において、障害者手帳所持者に対してアンケート調査を行い、方針を決定すると聞いているので、県の動向を注視し、引き続き研究を続けていく。

【問】今後、関係する団体から制度導入について意見を聴くことはないのか。

【答】アンケート調査や障害者団体との会議などを通じて意見を伺

うことを検討する。

【問】本市での導入に向けた考え方は。

【答】制度自体には賛成であるが、県域をエリアにした導入が効果的であるので、県に導入を促していく。

【問】県が導入しなければこの地域では導入されないのか。

【答】1月に開催が予定されている福祉関係の担当者会議などの機会を通じて県に働きかけていく。



②パーキングパーミット
身体障害者用駐車場を利用する際、
利用許可証を発行する制度。

景気回復に向け、本市の対応は？

佐藤 郁恵



【問】景気回復には、賃金確保、雇用確保、正社員化といったあり方を取り戻すことが前提だと考える。設計労務単価の引き上げや公契約条例制定に対する本市の対応は。

【答】市の過剰な関与は難しいと考えるが、

技能労働者への適切な賃金水準の確保について周知を図る。公契約条例制定の考えはないが、今後の状況を注視して対応する。

【問】国の報告書にあるように要支援者を介護保険制度から外すと介護難民が出ると心配

する。本市の認識は。

【答】法制度上の措置の骨子が閣議決定された段階であり、詳細については承知できていない。しかるべき時期を待つ。

【問】集团的自衛権についての本市の認識は。

【答】国で議論の最中なので、判断しかねる。豊川駐屯地があるので、国の動向に注視する。

発達支援の充実に向けた対策は？

大嶽 理恵



【問】発達支援の充実に向けた対策は。

【答】発達障害等の気になる子の数は増加傾向にある。児童発達支援センターの設置検討と切れ目のない相談支援体制の構築のため、福祉課、子ども課、保健センター、学校教育

課が連携したプロジェクト会議を立ち上げた。療育・医療機関等と連携するとともに、保護者の声も反映したい。

【問】子ども発達支援センターの設置時期は。

【答】早期に設置し、既存施設、制度、地域資源等を活用したい。

開発ビル経営再建の進捗は？

太田 直人



【問】開発ビルリニューアル後、収支計画は下方修正の連続であった。経営再建の進捗は。

【答】見込みの甘さに加え、消費低迷による入店テナントの売上減に伴う賃料収入の減。一方で、一部事業の外部委託やビル管理経費の削減を図った。

【問】22年度より、市によるビルの床買収や無利子の貸付金などで支援しているが、負債の返済、市長の社長退任など、当初の約束が

守られていない。今後の再建計画と時期は。

【答】ユニー及び豊川信用金庫への返済は、24年度までは計画どおり行ったが、以降については返済期限の繰り延べ調整中である。市への返済も早期にできるよう努力する。また、市長の社長退任の話は、株主や大口債権者の意向もあつて進んでいない。経常黒字化2年後の28年度を目標に取り組む計画。

ここに掲載した一般質問の内容は抜粋したものですので、詳しくは、ホームページで公開している会議録をご覧ください。



④通級指導教室

通常の学級に在籍する比較的軽度の障害がある児童、生徒に対して、障害の状態を改善、克服するために、必要に応じて各教科の補充指導を行うための教室。

③設計労務単価

公共工事に従事する労働者の県ごと、職種ごとの賃金。国が決定し、公共工事の積算に用いる。